

11

マレーシア/クアラルンプール

総面積:243km² / 人口:180万人(2018年推定) /
人口密度:7,377人 / km²



都市の現状

クアラルンプールは、マレー半島南西部の丘陵地帯に位置するマレーシアの首都で、国内で最も人口密度が高く、人口が多い。連邦政府機能はプトラジャヤに移転しているが、依然として国の経済の中心である。高速道路や鉄道、モノレールなどの交通インフラや大規模ショッピングモール等の開発が進み、豊かな緑の中に高層ビルが立ち並ぶ東南アジア有数の都市である。

スマートシティ行動計画

ビジョン：クアラルンプールは、2020年までに世界トップクラスの持続可能な都市となることを目指している。

重点分野：質の高い環境、社会的公正、経済的繁栄、整備されたインフラ、産業とイノベーション

Project 1 : G-Asset

G-Asset は、地理空間マップ用のワンストップ・プラットフォームであり、クアラルンプール市役所(DBKL)が日常業務において意思決定を下し実行する際に役立つ便利な視覚化データが満載されている。クアラルンプール市役所(DBKL)内のユーザーのみがアクセスでき、豊富なGIS地図データへアクセスできるだけでなく、情報をオンラインで共有・更新できる。観測所の概念を採用したこのプロジェクトは、幅広いユーザーに対応すべく事業を拡大する予定である。

Project 2 : クアラルンプール総合提出システム(KLIS)

クアラルンプール総合提出システムは、DBKLに開発プロジェクトを申請する際のオンライン提出処理プラットフォームである。これは、クアラルンプールにおいて開発計画、建築計画及び設備計画の承認が必要な小規模な住宅申請が対象である。このシステムは、2019年1月15日より使用が開始され、そのオンライン機能には、提出、処理、支払、デジタル署名、自己監視機能及びモバイル対応等が含まれている。このシステムにより、待ち時間や人手を削減し、文書の保管にも役立っている。

Project 3 : GoKL Journey Planner

GoKL Journey Planner は、クラウドベースの高度道路交通システム(ITS)であり、DBKL及び通勤客(観光客を含む)向けに、GOKLバスのサービス及び路線移動をほぼリアルタイムで追跡できるようにしている。GoKL Journey Planner アプリケーションを使用することで、一般市民はバスの時刻表や移動に関するリアルタイムの情報を簡単に取得できる。リアルタイムの情報には、バスの到着時間、出発時間及び運行状況が含まれる。

取組み状況

スマートシティは、クアラルンプールをより持続可能かつ住みやすいものにする都市の管理と開発における新しいアプローチと捉えられている。技術の進歩及び情報技術(IT)アプリケーションの活用により、スマートシティは、都市の住民や市政担当官にとって、より実用的で便利になる。現在実施しているG-Assetなどのプロジェクトは、最終的な成果となる都市データを管理・配信するためのより大規模なプラットフォーム「KL Urban Observatory (クアラルンプール都市観測所)」を構築するための出発点である。プロジェクト実施にむけた課題には、一貫性のないデータ、信頼できるデータや開発・計画・投資態勢の欠如、関係当局や機関が計画承認を判断する際に用いる情報の不確実性、外部機関の既存のシステムとの統合などがある。



スマートシティ最高責任者

Datuk Mahadi bin Che Ngah / クアラルンプール市 エグゼクティブ・ディレクター(計画担当) /
Email : mahadi@dbkl.gov.my / pkpepp@gmail.com